

第7次行政改革推進計画の令和6年度の取組について

第7次総合計画に基づくまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確実な提供を目指し、3つの基本方針に基づく12の取組の柱の目標達成に向け取組を推進した。

【取組の体系】

基本方針	取組区分	取組の柱
① 人づくり	(1) 人材育成の強化	柱① 人材確保
		柱② 職員の能力向上
		柱③ 人事評価の見直し
		柱④ 人事異動の見直し
② 組織づくり	(1) 組織体制の強化	柱⑤ 組織機構・運用の強化
	(2) 働き方の見直し	柱⑥ 勤務形態の多様化
		柱⑦ 業務執行方法の改善
	(3) 行政サービスの立案・改善の強化	柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化
		柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化
③ 健全財政の維持	(1) 歳入の確保	柱⑩ 歳入の確保
	(2) 歳出の適正化	柱⑪ 事務事業の適正化
		柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクター等の経営健全化の推進

1 基本方針ごとの取組結果の概要

① 人づくり

- 採用試験の前倒しや実施回数の拡充など、職員数の確保に向けた新たな取組を進め、必要な人材の確保に努めた。
- 人事評価制度において、職員が自ら改善や自己啓発を図ることを奨励する仕組みを構築し、職員の育成につなげた。

② 組織づくり

- ふるさと納税の受入額向上に向けた取組について、職員有志による活動を行うなど、部課等の枠を超えた分野横断的な連携を進めた。
- 文書事務の電子化やシステムの活用によりペーパーレス化やオンライン化を推進し、事務の効率化や市民の利便性の向上を図った。

③ 健全財政の維持

- ふるさと納税や未利用財産の売却・貸付収入について、それぞれの目標額を上回る成果を上げ、歳入の確保に寄与した。
- 公の施設の適正配置計画の取組等を進め、施設の廃止や民営化につなげ、市の将来的な財政負担の軽減を図った。

2 取組の柱ごとの取組結果

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱① 人材確保

概要

○ 計画的な定員管理の下、行政課題に的確に対応し、良質な行政サービスを提供するために必要な能力や適性、専門性を有する人材の確保に向けた取組を強化するもの

目標

○ 良質な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、必要な人材を確保している状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ I 種及び民間企業等職務経験者を対象とした採用試験を2回に増やしたほか、特に不足する土木技師、建築技師の確保のため、試験時期の前倒しや、総合適性検査（SPI）による採用試験を実施した。
- ・ 専門性を有する人材の確保のため、新たに教育分野において、部活動の地域展開等に向けた任期付職員等を任用した。

■ 成果・課題

- ・ 即戦力として活躍が期待される民間企業等職務経験者や高度な専門的知識、経験を有する任期付職員を確保した。
- ・ 試験時期の前倒しや実施回数の拡充など、新たな取組を進めたことにより、職員数の確保を図った。
- ・ 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、民間企業、国及び他の地方公共団体との採用の競合により、安定的かつ持続的な行政サービスの提供に必要な職員数の確保が厳しくなっている。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱② 職員の能力向上

概要

○ 社会経済情勢の変化や複雑化・多様化する市民ニーズに柔軟に対応した良質な行政サービスの提供を担う職員を育成するため、職員研修の拡充や自己研さんの推進を行うもの

目標

○ 職員研修等により、各職位に必要な資質・能力が向上している状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 研修の実施効果を高めるため、研修内容の定着や振り返りを目的としたフォローアップ研修を実施した。
- ・ ハードクレームへの対応を強化するため、2次対応者向けの研修を新たに実施するなど、各種研修の新規実施、拡充等を行った。
- ・ 職員自らのキャリアデザインへの支援として、業務での必要性等を踏まえ、資格取得支援制度に新たに技術関係（土木・建築・機械・電気等）の8資格を追加し、拡充した。

■ 成果・課題

- ・ 職員研修により、会計年度任用職員を含む各職位に必要な資質・能力の向上を図ったほか、フォローアップの実施により研修内容の定着につながり、研修の効果が高まった。
- ・ 職員の専門性や得意分野の伸長を図るとともに、能力開発の機会を提供するため、資格取得支援等を実施・拡充し、自己研さんを推進した。
- ・ 研修の内容や実施時期等を見直し、さらに研修効果を高める取組が必要である。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱③ 人事評価の見直し

概要

○ 人材育成のツールとして、職員の意欲と公務能率の更なる向上を図るため、人事評価制度の見直し・運用を行いながら、制度の熟度を高めるもの

目標

○ 人事評価により、職員の意欲や能率が向上し、行動につながっている状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 令和5年度に見直した評価項目等に基づき人事評価制度を運用したほか、公平・公正な評価を行うための評価者研修を継続して実施した。
- ・ 人事評価制度について、能力評価において具体的な行動例を追加したほか、業績評価において改善や自己啓発を図ることを奨励する仕組みを構築するなどの見直しを行った。

■ 成果・課題

- ・ 職員に求められるリスクマネジメント対応を具体的に示し評価することで、不適切事務の未然防止や発生時の適切な対応等に向けた意識向上を図った。
- ・ 職員が自ら改善や自己啓発を図ることを奨励する仕組みを構築し、職員の育成につなげた。
- ・ 人材育成を主眼として人事評価制度を運用し、見直しや拡充等を行っているが、評価に当たっての入力項目の多さが職員に負担感を与えており、運用改善に取り組む必要がある。

①人づくり (1) 人材育成の強化

柱④ 人事異動の見直し

概要

○ 広い視野と専門性を持つ職員を育成するとともに、職員の意欲向上と能力の発揮を促進し、あわせて、地域を知り、市民と共に考え行動する職員の育成に向け、キャリアデザイン、職員の希望や適性等を総合的に勘案した適材適所の人事異動を行うもの

目標

- 職員の専門性の向上が図られている状態
- 職員の意欲が向上し、能力が発揮されている状態
- 地域を知り、市民と共に考え行動する職員が育成されている状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 広い視野を持つ職員を育成するため、採用後は事業系、窓口対応系、管理・調整系の部署への配属・異動を実施するジョブローテーションを行うとともに、職員の希望や適性、キャリアデザイン等を総合的に勘案した人事異動を継続した。
- ・ 職員のキャリアデザインを考える機会の提供や人事異動の運用のため、自己申告制度を継続した。

■ 成果・課題

- ・ ジョブローテーションの実施により、職員が自らの適性を見極める機会とするとともに、広い視野を持つ職員の育成を図った。
- ・ 希望する部署等への人事異動は、職員自身の意欲向上等につながる要素である一方、組織における新陳代謝や政策課題等への戦略的な配置が必要であることから、職員個人のキャリアデザインや適性等を踏まえつつ、組織としてのパフォーマンス最大化を総合的に勘案した人事異動を継続するほか、4月の繁忙期に実務に慣れた職員が対応できる体制を検討する必要がある。

②組織づくり (1) 組織体制の強化

柱⑤ 組織機構・運用の強化

概要	○ 総合計画に基づく政策・施策・個別事業を効率的かつ着実に推進できる組織体制を整備するとともに、意思決定の迅速化や組織横断的な連携を推進するなど組織運営の強化を図るもの
目標	○ 総合計画を着実に推進するための組織体制により行政課題に的確に対応している状態 ○ 迅速かつ的確な意思決定・実行、部局横断的な行政課題に対する部課等の意識の共有と連携が行われている状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 第7次総合計画の着実な推進と行政需要等の変化を捉えて、こども家庭センターやすこやかなくらし支援室、地域クラブ活動推進室等を新設するなど、組織体制を一部見直した。
- ・ 分野横断的な連携について、新たにふるさと納税の推進に向けた職員有志を募り、ふるさと応援室とともに当市の魅力発信やふるさと納税の受入額向上に向けた活動を行った。
- ・ 専門的な知見を取り入れるため、民間企業からDX戦略官、DX推進官の派遣を受け、行政課題の解決に向けた取組を進めた。

■ 成果・課題

- ・ ふるさと納税の受入額向上に向けた取組について、職員有志による活動を行うなど、部課等の枠を超えた分野横断的な連携を進めた。
- ・ 事業等を着実に推進できる組織体制に向け、事務誤り等を生じさせないように、組織間の役割分担の見直しや業務手順の明確化等を検討する必要がある。

②組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑥ 勤務形態の多様化

概要	○ 職員が持てる能力を存分に発揮できるよう多様な働き方を推進するなど、働きやすい職場づくりを行うことで、職員が業務に集中し、自分らしく活躍できる職場環境づくりを進めるもの
目標	○ ライフスタイル等に応じた多様な働き方の推進により業務に集中できる働きやすい職場環境づくりが進んでいる状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 勤務時間や勤務場所の柔軟化に向けた、早出遅出勤務、業務の実態に応じた弾力的な勤務の運用を引き続き実施した。
- ・ 働きやすい職場づくりに向け、子育てに関する休暇制度等の周知や育児休業等の取得促進各種特別休暇の取得促進等により引き続き取り組んだ。
- ・ 勤務する上での適正な配慮事項等を把握するため、障害のある職員との面談等を行った。
- ・ 多様な働き方に向け、平常時における在宅勤務の対象者の拡大やフリーアドレスの試行を行った。

■ 成果・課題

- ・ 全職員の在宅勤務を可能とし、多様な働き方を推進したほか、時間外勤務の縮減や休暇の取得促進等により、ワークライフバランスの向上を図った。
- ・ 時間外勤務の時間数の一層の削減に向け、業務の効率化や弾力的勤務時間の積極的な運用に取り組む必要がある。
- ・ 働きやすい職場づくりのため、カスタマーハラスメント対策を行うほか、執務環境の整備・改善に向けた取組を継続する必要がある。

②組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑦ 業務執行方法の改善

概要	○ 非効率な業務執行等による職員の業務上の負担を軽減し、職員が持てる能力を存分に発揮できる環境を整えるとともに、業務の能率向上を図るため、デジタル技術の活用を含む業務執行方法の改善を推進するもの
目標	○ デジタル技術の活用や業務執行方法の改善の取組により、ペーパーレスやオンラインによる会議、文書事務の電子化といった効率的な働き方や業務の改善等が浸透することで、業務執行に係る負担が軽減し、能率が向上した状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 庁舎等における無線LAN環境の整備を完了し、ペーパーレス化等の効率的な業務執行につながった。
- ・ 各所属における日常的な検証と改善を図る「セルフチェック」に取り組むとともに、本取組による業務改善が定着するよう、ヒアリング及びBPR（業務プロセスの見直し）の手法による業務改善の支援を実施した。
- ・ 文書管理・財務会計システムの本格運用を開始した。

■ 成果・課題

- ・ デジタル技術の活用や業務執行方法の変更等によるペーパーレス化が進展したほか、文書管理・財務会計システムによる文書事務の電子化を進め、場所にとらわれない業務執行を推進した。
- ・ 文書事務等の電子化においては、業務執行方法の改善等により引き続き効率化に取り組む必要がある。

②組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化

概要	○ 良質な行政サービスの提供を行うため、市民ニーズや社会経済情勢の変化をデータ等に基づき適切に捉え、成果や課題を整理し、PDCAサイクルに基づく施策や事業の立案・改善を一層推進するもの
目標	○ 総合計画の進捗管理等を通じて、市民に必要とされる良質な行政サービスの立案・改善が適切に行われている状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 政策協議において、新たに分野横断的課題を整理・調整するとともに、人口減少対策の強化に向けた取組の立案・改善に取り組んだ。
- ・ 国勢調査に基づく人口メッシュデータなど、組織横断的に利用できる地図情報を新たに汎用地図情報システムに登録した。

■ 成果・課題

- ・ 政策協議を通じて、各種施策・事業の改善を始め、分野横断的な課題への対応や人口減少対策の強化に資する事業の立案・協議を行い、令和7年度当初予算への反映を図った。
- ・ 新規・拡充事業の立案を図る一方で、限られた経営資源を踏まえ、必要性や効果の薄れた施策・事業の見直しや廃止、財源確保などを行う必要がある。
- ・ 紙や表計算ソフト等で管理する情報の集約を進め、現在1,000件以上を地図情報システムに登録しており、当該情報を庁内で組織横断的に活用できるよう、業務上の活用方法を周知する必要がある。

②組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化

概要

- 市民ニーズや社会の変化に迅速に対応した利便性の高いサービスを提供するため、行政手続や窓口サービスといった市が市民と直接接点を持つサービスについて、デジタル化を始めとする利便性の向上を行うもの

目標

- 行政手続や窓口サービスなどについて、市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応したものとすることで、市民の利便性向上や負担軽減を実現し、市民の満足度が向上した状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 行政手続のオンライン化やキャッシュレス化に向け、公共施設予約システムの対象施設や汎用オンライン申請に対応した手続を追加したほか、簡易なキャッシュレス決済の検討等に取り組んだ。
- ・ 窓口サービスの改善等に向け、マイナンバーによる情報連携の拡大やおくやみコーナーの運用状況の検証を行ったほか、相談業務等のオンライン支援に向けた技術的な検討に取り組んだ。
- ・ 公開用の地図情報システムを活用したオープンデータの推進やLINEによる情報伝達の改善に向けた検討を行い、情報伝達の拡大を図った。

■ 成果・課題

- ・ 汎用オンライン申請ツール等の手続を追加し、各種手続等のオンライン化を推進したほか、公共施設予約システムで利用可能な施設を拡大し、市民の利便性向上につなげた。
- ・ 地図情報システムのデータ拡充により、利便性が向上し、市民等による利用が増加した。
- ・ 窓口サービスの一層の改善に向け、窓口の対応体制やオンライン支援等の検討を行うほか、申請のオンライン化や支払い手続等のキャッシュレス化の推進に取り組む必要がある。

③健全財政の維持 (1) 歳入の確保

柱⑩ 歳入の確保

概要

- 市民生活に必要な基礎的な行政サービスの提供、直面する課題への対応及び総合計画に基づく政策推進に所要とする財源の確保に取り組むもの

目標

- 事務事業に所要とする財源を適正に確保し、過度な将来負担を抱えない状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ ふるさと納税の活用に向け、返礼品の主力となる米を確保するとともに、ふるさと納税関係イベントへの出店や新たに都内のコワーキングスペースでのPR、新規ポータルサイトの追加や中間事業者の変更を行った。
- ・ 旧上越観光物産センター等の土地・建物を売却するなど、未利用財産の売却・貸付を進めた。
- ・ 施設使用料等の見直しに向けた現状把握を行ったほか、法改正に伴う手数料の見直しを行った。

■ 成果・課題

- ・ ふるさと納税の寄附金額は、約6.42億円を受け入れ、目標額5.0億円を上回った。
- ・ 未利用財産の売却及び貸付収入は、約2.31億円の歳入となり、合計目標額1.47億円を上回った。
- ・ 未利用財産の処分に関し、廃止後の利活用・処分方針が定められていない案件や、利害関係者が複数に及ぶ事例など、方針決定までに時間を要する案件が複数ある。
- ・ 施設の老朽化や物価高騰による維持管理経費の増加などに対応するため、将来を見据えた使用料の見直し等について、減免等の在り方を含め検討する必要がある。

③健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑪ 事務事業の適正化

概要	○ 必要な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、PDCAサイクルに基づく事務事業の適正化に取り組むもの
目標	○ 限られた経営資源を効率的・効果的に投入するとともに、手法の合理化、運用の工夫・改善により経費の縮減が図られ、基礎的な行政サービスの確保と政策推進が両立している状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 各所属におけるPDCAサイクルに基づく日常的な検証と改善を図る「セルフチェック」を継続した。
- ・ セルフチェックによる業務改善の推進と定着を目指し、ヒアリング及びBPR（業務プロセスの見直し）の手法を活用した業務改善の支援を実施した。
- ・ 業務改善における優良事例や横断的に展開可能な事例を周知し、各所属における改善を促した。

■ 成果・課題

- ・ 事務作業のデジタル化や測量CADシステムの活用による業務効率化など、セルフチェックで検討した課題等について、速やかな改善や予算計上等につなげた。
- ・ 業務改善について、ヒアリングによる助言や支援を通じて取組が進んでいる一方、職員が主体的に取組を進められるよう、改善手法を組織に浸透させる仕組みが必要である。
- ・ 持続可能な行財政基盤の構築に向け、各所属が自ら業務改善に取り組む必要があるほか、事務事業の見直しにより事務の適正化等や人員配置等の適正化を図る必要がある。

④健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクター等の経営健全化の推進

概要	○ 公共施設に係る将来的な財政負担の軽減を図るため、施設の適正配置と効果的かつ効率的な管理を推進するもの ○ 第三セクター等に対する関与方針に基づき、経営の健全化を推進するもの
目標	○ 公の施設の適正配置計画に基づく取組や施設管理の適正化を図ることで、市の将来的な財政負担が軽減された状態 ○ 第三セクター等の経営健全化を図ることで、市の将来負担が軽減されている状態

■ 令和6年度の実施内容

- ・ 公の施設の適正配置計画に基づき、温浴施設4施設について、民営化に向けた公募型プロポーザルを実施した。
- ・ 第三セクター等に対する関与方針に基づき指導を行うとともに、経営健全化の取組を推進した。
- ・ 施設管理の適正化に向け、施設の利用実態の把握や指定管理者制度の運用の見直しを進めた。

■ 成果・課題

- ・ 公の施設の適正配置計画の取組等を進め、9施設を廃止し、このうち温浴施設1施設（くわどり湯ったり村）を民営化につなげた。
- ・ 「第三セクターに対する関与方針」で対象とする全11法人について、決裁規程の整備など、不正行為防止に向けた体制強化を図った。
- ・ 指定管理者制度の運用の見直しにおいて、協定書にリスク分担を明記するなど、制度の適正な運用に向けた取組を進めた。
- ・ 第三セクターについて、人員不足や後継者の未定などの将来の経営体制の課題を踏まえ、経営改善及び機能維持に向けた取組を進める必要がある。